

委員 今回を含め5回の会議があり、今回の計画を見る限りでは良い構想ができつつあると評価している。しかしながら、今後、それぞれの地域で交通施策を実施するにあたり、それぞれの地域で既存の課題が残ったり、新たな課題が生じてくると考えられる。

施策を実施することにより、どのように変化していくかが重要となるので、検証期間を設けることが必要である。事務局としては今後の展望をどのように考えているか。

事務局 資料2の p121 に目標達成に向けたマネジメントの進め方として、PDCA を示した。さらに、p124 に実施計画推進の流れとして、年間管理計画の流れを示した。これに基づき、見直しの必要がある場合は、見直しを行っていく予定である。

委員 資料2の p121～122 に計画目標とそれに対する評価指数を示されているが、分かりにくいと思われる点がある。

1つめとしては、評価指数として「導入から5%増加」と記載されているものが見受けられるが、基となる数値が記載されていないため、評価を行う際に具体的な検証を行うことができないのではないかと。

2つめとしては、目標5における3つめの評価指数として「1便あたりの乗車人員の増加」とあるが、目標5は「高齢者及び免許証不保有者における利用者の増加」となっているので、評価指数はバス利用者全体ではなく、高齢者や免許証不保有者に特化したものとした方が良いのではないかと。

事務局 ご指摘いただいた点につきましては、再度、他の資料等を見直し、分かりやすい数値を評価指数として示したいと思います。

議長 委員の皆様からいただいたご意見、ご提言を踏まえまして、始良市地域公共交通網形成計画（案）に修正を加えたものを、始良市地域公共交通網形成計画（案）としてパブリックコメントの手続きをすすめてよろしいでしょうか。
⇒承認。

③ その他

事務局が資料4に沿って、JR 加治木駅のバリアフリー化促進事業及び今後の始良市地域公共交通会議の予定について説明。

委員 加治木駅以外の他の4つの始良市内のJR駅の利用者数は把握しているのか。また、高齢者・障がい者等の移動等の円滑化のためとあるが、駅利用者数のうちの高齢者や障がい者の利用者の割合は把握しているか。

事務局 始良市内に立地する駅の利用者数、構造等につきましては、始良市地域公共交通網形成計画（案）の p25～p26 に記載しておりますので、ご確認ください。利用者数のうちの高齢者や障がい者の利用割合は把握していないが、整備することにより、利用者の増加が見込めると考えております。